

# くらさん

## 幼保小中連携の日(6/12)



6月12日は、「幼保小中連携の日」でした。幼保小中連携の日というのは、幼稚園、保育園、小学校、中学校に勤務する先生たちが、一堂に会し、それぞれの園や学校の様々や課題・問題を出し合い、

協議し共通理解することで、それぞれの指導に生かすことを目的としたものです。

この日、託麻西小学校の職員は、東部中と西原中の二手に分かれて行き、中学校の授業を参観した後、7つの分科会（1年生部会・学習指導部会・生徒指導部会・特別支援教育部会・外国語「英語」部会・養護部会「養護教諭」・経営部会「校長」）に分かれて、それぞれの園・学校の現状や課題、問題点などを出し合い、理解を深めあいました。

私は、東部中に行って授業を参観させていただきました。上の写真は、左側が1年生の英語の授業の様子、右は3年生の家庭科（裁縫）の様子です。1年・2年・3年、それぞれ違った雰囲気があり、1年生の教室では、ちょっと前までは小学生だったこともあり懐かしい学校の先生の顔を見つけて生徒の間から歓声が起こる場面もありました。

小学校からの中学校への要望や、中学校から小学校への要望、お互いの学校で共通して指導していくことなどが、各部会で出され有意義な時間となりました。この幼保小中連携の日は、年3回行われ、託麻西小学校へは、3学期に他園・他校の先生方が来られる予定です。

## 芸術鑑賞会(6/13)



6月13日に芸術鑑賞会がありました。今年の鑑賞会は、日本芸術教育振興会による、「ラテン音楽と楽しいミュージック」という演目の音楽鑑賞会でした。全学年が一度に体育館に入って鑑賞するのは無理なので1から3年生と、4から6年生に分か

れて鑑賞しました。オープニングから太鼓の軽快なリズムで始まり、ラテンの明るくテンポのよい楽しいリズムの音楽に自然と体が動き出すような感じを覚えました。今回の鑑賞会は、ただ一方的にラテンの音楽を聴くのではなく、時々みんなで声を出したり、輪を作って音楽に合わせて回ったりして、心と体を開放することができるようなプログラムとなっていました。最後はアンコールもあり、体育館から出てきた時の子どもたちの顔は、明るくすがすがしい顔をしていました。

